

【公募情報】日本医療研究開発機構（AMED）「認知症研究開発事業」「障害者対策総合研究開発事業」

平成 27 年 7 月 7 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

7 月 6 日付で『「認知症研究開発事業」「障害者対策総合研究開発事業」』について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1)応募意思の申し出締切：【平成 27 年 7 月 10 日（金）】

(2)応募書類一式提出締切：【平成 27 年 7 月 15 日（水）】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 提案書の提出方法：【e-rad および郵送】

認知症研究開発事業

障害者対策総合研究開発事業

<http://www.amed.go.jp/koubo/010420150706.html>[外部ページ]

—公募概要—

【公募期間】平成 27 年 7 月 6 日～平成 27 年 7 月 24 日（金）（正午）

【研究実施期間】平成 27 年度（平成 27 年 10 月スタート）

【採択数】各テーマ 1 課題（4 テーマ）

【公募テーマ】【研究費（間接経費含む）】

<認知症研究開発事業>

- ① 認知症の人等の全国的な情報登録・連携システムに関する研究

研究費：3 億 2000 万円

② 認知症臨床研究の実施を支援する体制に関する研究

研究費：1 億 2500 万円

<障害者対策総合研究開発事業>

③ 治療抵抗性統合失調症に対する客観的診断・治療法の開発

研究費：2000 万円

④ 脳脊髄液サンプルを用いた精神疾患バイオマーカーの開発

研究費：2200 万円

【各テーマの目標】

<認知症研究開発事業>

① 認知症の人等の全国的な情報登録・連携システムに関する研究

目標：平成 27 年月に発表された「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」では「認知症の人が研究への参加に際して容易に登録できるような仕組みを構築」とされている。本公募では、その対象者情報をどのような基準の下でいかに登録し、長期にわたり追跡していくか等に関する知見を確立し、全国的な登録システムを開発する。

② 認知症臨床研究の実施を支援する体制に関する研究

目標：新オレンジプランで掲げられた「臨床研究の推進に寄与する支援体制を強化」としていくという方針を実現するため、効率的な大規模多施設共同臨床研究の推進に必要な支援基盤等に関する知見を確立し、根本的治療薬開発等の研究推進の支援体制を強化する。

<障害者対策総合研究開発事業>

③ 治療抵抗性統合失調症に対する客観的診断・治療法の開発

目標：治療抵抗性統合失調症に対し、治療薬選択に資する客観的診断法を開発する。開発される成果によって、治療抵抗性統合失調症に対する有効かつ副作用の少ない新たな治療薬の開発を加速する。

④ 脳脊髄液サンプルを用いた精神疾患バイオマーカーの開発

目標：病態を直接反映する脳脊髄液を分析し、うつ病等の精神疾患の脳内分子動態を解明する。うつ病等の精神疾患に特有の分子を同定し、それをターゲットとした根本的治療薬開発への道筋を開く。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当

メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp